



猛暑に負けず暑気払い

2025 年 8 月 9 日(土)



時は令和七年葉月九日先負の土曜日炎暑未だ去りやらぬ夕刻は五時半、老壮男子十五名が田無駅北口間近「大衆居酒屋三六」に打ち揃い、愈々もって高齢の、もとい、恒例の暑気払いの開宴でございます。

久保田さんのごあいさつに続き濱田さんのご発声にて乾杯、老壮男子面々はジョッキを前へ！

右の耳で講義の思い出を聴き左の耳では

今日の朝食を知る。右手の箸で刺身をつまみ左腕のジョッキで流し込む、その口はひとつ。浜の真砂は

尽きるとも話の種は尽きるまじ。お代りジョッキも尽きるまじ。なれど無念にもこれにて打ち止めの声、安松さんの三本締めにて大団円を迎えたのであります。

この日の誕生花は「百合水仙」その花言葉たるや白色は凛々しさ、赤色は幸せ、橙色は友情とまさに明治大学校友会そのものでございます。まさに明治はひとつ。来年は老若男女相まみえての集いとなりますようにと酔いの明星に祈願致したところでございます。



(報告: 安倍正人 撮影: 宮川孝之)